

## 報告（3）

## 資料3

## 令和3年度の市内公共交通利用者数について

## 1. 黒部市内公共交通の概要

- ・黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向に走るあいの風とやま鉄道、市域を東西方向に走る富山地方鉄道本線が骨格となり、地域の状況に応じた路線バス、コミュニティタクシー、デマンド交通によるネットワークが形成されています。
- ・市東部の宇奈月温泉地区では、観光列車として有名な黒部峡谷鉄道が運行しています。
- ・平成27年度以降、黒部市地域公共交通網形成計画に基づいて路線バス、デマンドタクシーの新設及び見直しや社会実験が行われ、平成30年度は、10月から南北循環線の一部を減便しました。
- ・令和元年12月25日には、明峰中学校開校（令和2年4月）に向けた通学環境改善のため、移設新築された富山地方鉄道荻生駅の利用が開始されました。
- ・そのほか、令和元年度で一部の路線バス、コミュニティタクシーについて、ルートや運行形態の見直しを行い、令和2年度の運行に反映しました。
- ・令和3年度は事業者間でのワークショップを実施し、主に中型バス路線の見直しについて、方向性を決めました。
- ・生地循環線について、道の駅「KOKO くらべ」までのルートを決めました。

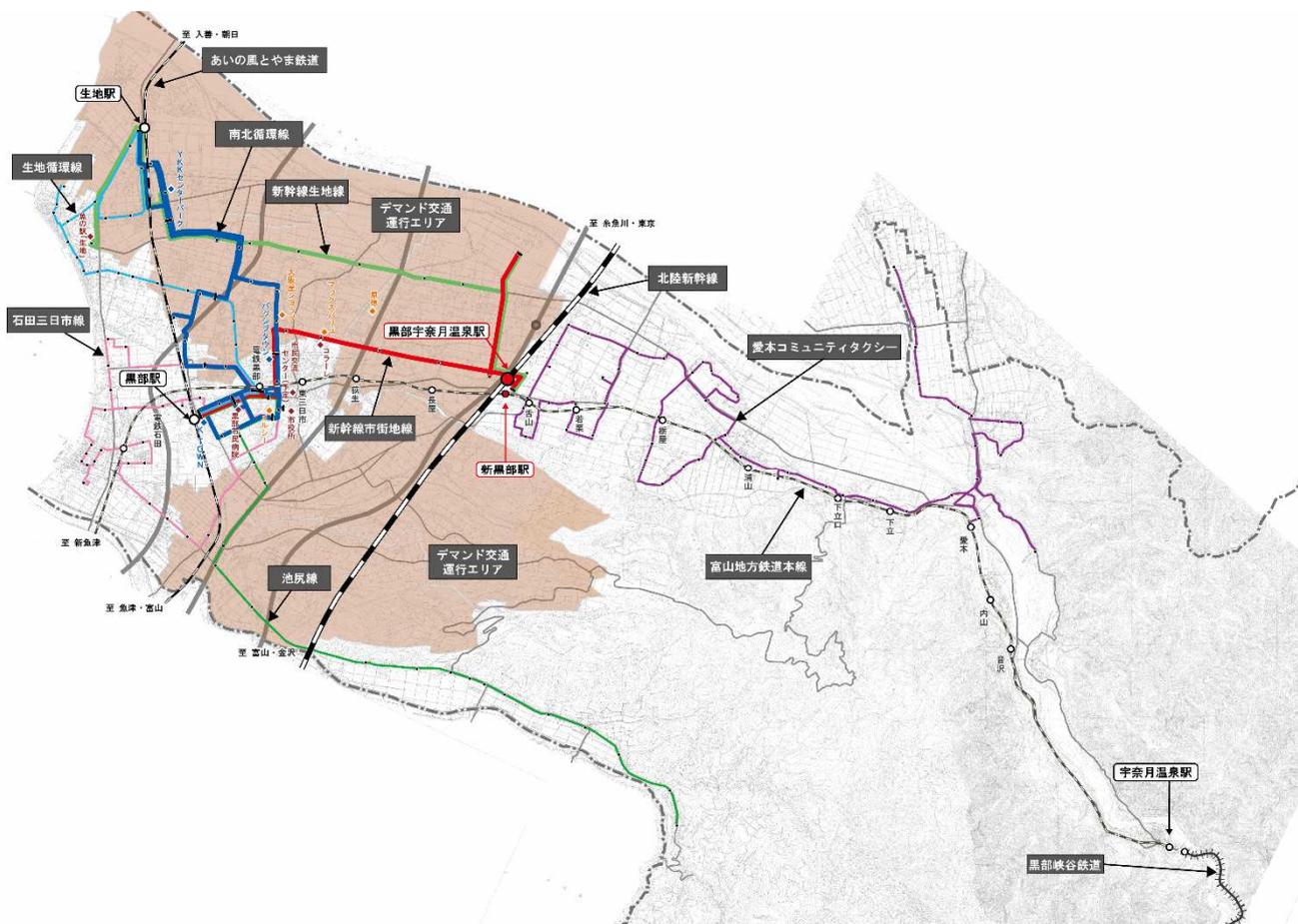


図 黒部市の公共交通網(令和4年3月末時点)

## 2. 黒部市内公共交通の利用状況

### (1)【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用状況を把握するため、乗降調査を行いました。

実施方法：黒部宇奈月温泉駅改札を通過する利用者を目視により計数調査

実施時間：6 時～22 時台（終電到着後一定時間まで）

- ・令和 3 年度の乗降人数は、11 月以外は前年度の乗降人数を上回っていますが、令和元年度と比較すると、乗降人数は大きく下回っており、新型コロナウイルスによる影響は続いていると思われます。

調査日	令和 3 年度							R2 同期 乗降人数	乗降人数 対 R2 割合 (R3/R2)	R1 同期 乗降人数	乗降人数 対 R1 割合 (R3/R1)	備考 令和 2 年度 実施日
	乗車 人数 (a)	うち ビジネス	降車 人数 (b)	うち ビジネス	乗降 人数 (a+b)	うち ビジネス	ビジネス 割合					
令和 3 年 5 月 3 日 (月・祝)	388	16	353	17	741	33	4. 5%	新型コロナウイルス感染 拡大の影響により中止	3, 400	21. 8%	中止	
令和 3 年 6 月 17 日 (木)	239	104	250	107	489	211	43. 1%	475	102. 9%	1, 603	30. 5%	令和 2 年 6 月 18 日 (木)
令和 3 年 6 月 20 日 (日)	264	16	262	29	526	45	8. 6%	524	100. 4%	1, 945	27. 0%	令和 2 年 6 月 21 日 (日)
令和 3 年 8 月 9 日 (月・祝)	472	18	451	27	923	45	4. 9%	591	156. 2%	3, 031	30. 5%	令和 2 年 8 月 10 日 (月・祝)
令和 3 年 11 月 7 日 (日)	886	43	827	27	1, 713	70	4. 1%	1, 714	99. 9%	2, 623	65. 3%	令和 2 年 11 月 1 日 (日)
令和 3 年 11 月 11 日 (木)	458	142	584	151	1, 042	293	28. 1%	1, 262	82. 6%	2, 060	50. 6%	令和 2 年 11 月 12 日 (木)
令和 4 年 2 月 3 日 (木)	205	75	217	74	422	149	35. 3%	355	118. 9%	1, 413	29. 9%	令和 3 年 2 月 4 日 (木)
令和 4 年 2 月 13 日 (日)	418	22	348	38	766	60	7. 8%	518	147. 9%	1, 561	49. 1%	令和 3 年 2 月 14 日 (日)

## （2）【鉄道】あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- ・あいの風とやま鉄道市内駅の日平均乗降客数は、長期的には減少傾向がみられましたが、平成 27 年 3 月の同鉄道開業以降は増加傾向に転じました。しかし、新型コロナウイルスの影響から令和元年度に再び減少に転じ、令和 2 年度はさらに前年度を大きく下回りました。令和 3 年度は前年度を上回りましたが、令和元年度と比較すると、乗降人数は下回っており、新型コロナウイルスによる影響は続いていると思われます。
- ・駅ごとにみると黒部駅、生地駅ともに令和 3 年度の日あたりの乗降客数は、前年度と比較して若干増加していますが、一方で、どちらの駅も令和元年度と比較すると、乗降人数は下回っており、新型コロナウイルスによる影響は続いていると思われます。

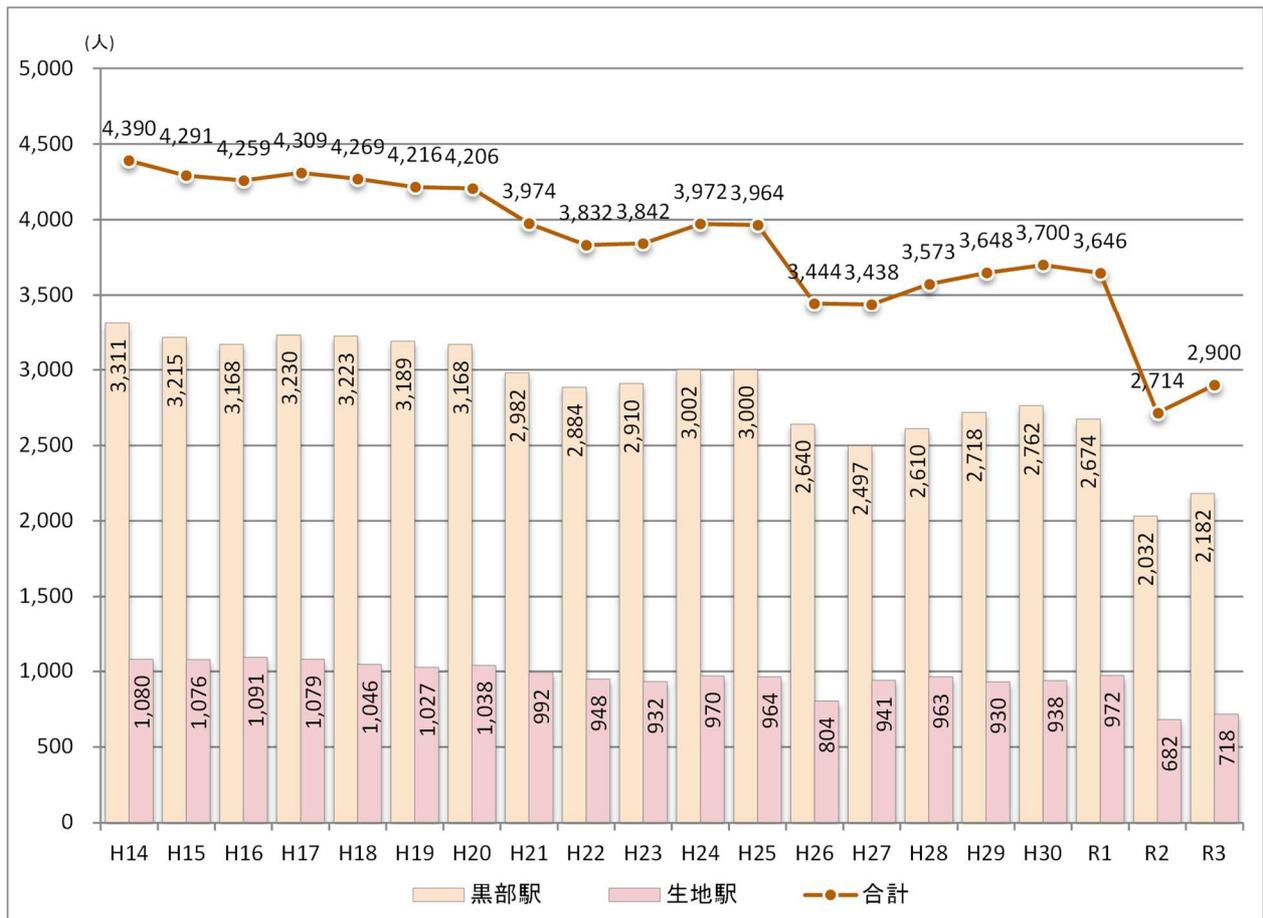


図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の1日あたり乗降客数の推移

表 あいの風とやま鉄道黒部市内鉄道駅の1日あたり乗降客数前年比

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
黒部駅	98.3%	97.1%	98.5%	102.0%	99.8%	98.9%	99.3%	94.1%	96.7%	100.9%	103.2%	99.9%	88.0%	94.6%	104.5%	104.1%	101.6%	96.8%	76.0%	107.4%
生地駅	99.9%	99.7%	101.4%	98.9%	96.9%	98.2%	101.1%	95.6%	95.6%	98.3%	104.1%	99.4%	83.4%	117.0%	102.3%	96.6%	100.9%	103.6%	70.2%	105.3%
合計	98.7%	97.7%	99.3%	101.2%	99.1%	98.8%	99.8%	94.5%	96.4%	100.3%	103.4%	99.8%	86.9%	99.8%	103.9%	102.1%	101.4%	98.5%	74.4%	106.9%

(出典:平成 26 年は平成 27 年 3 月 13 日まではJR西日本、平成 27 年 3 月 14 日以降はあいの風とやま鉄道)  
※緑色は前年度比で増加を示しています。

### （3）【鉄道】 富山地方鉄道本線の利用状況

- ・富山地方鉄道本線の一日あたりの乗降客数は、平成 22 年まで減少していましたが、平成 23 年から増加に転じ、北陸新幹線が開業した平成 27 年は大幅に増加しています。平成 28 年以降は概ね横ばい傾向が続いていましたが、令和元年は新型コロナウイルスの影響から減少に転じ、令和 2 年度は利用者数が大幅に減少しています。また、令和 3 年度も減少傾向が続いており令和元年度の利用者数を下回っていることから新型コロナウイルスによる影響は続いていると思われます。
- ・駅ごとの乗降客数は、北陸新幹線開業後に宇奈月温泉駅で大きく底上げされ、そのほかの駅も含め概ね横ばい傾向が続いていました。しかし、令和元年度に新型コロナウイルスの影響から、ほとんどの駅で減少に転じ、特に新黒部駅と宇奈月温泉駅は令和 2 年度において利用者数の減少が顕著となっています。また、令和 3 年度は全ての駅で令和元年度の利用者数を下回っており、全ての駅において、新型コロナウイルスによる影響が続いていると思われます。

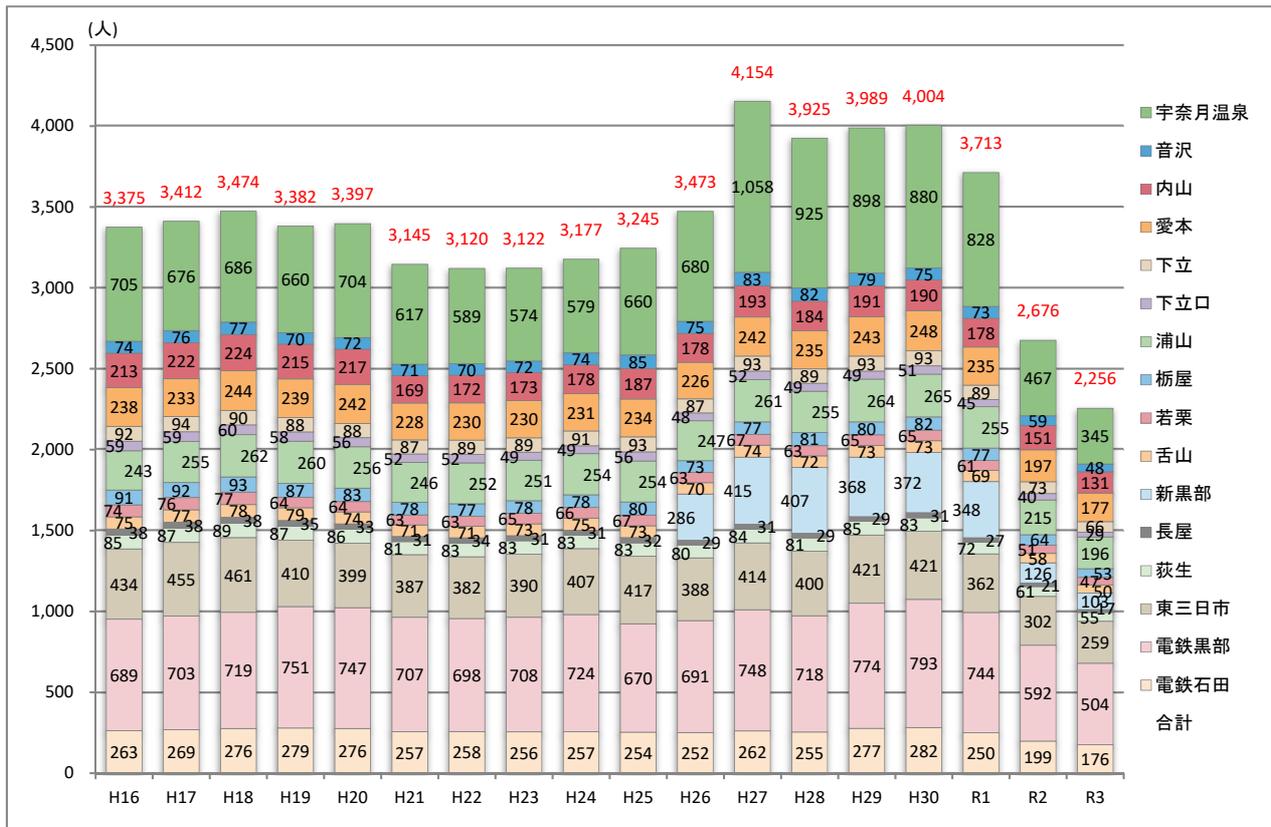


図 富山地方鉄道本線市内駅 1 日あたり乗降客数推移 (出典: 富山地方鉄道株式会社)

表 富山地方鉄道黒部市内鉄道駅の 1 日あたり乗降客数前年比 (出典: 富山地方鉄道株式会社)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
電鉄石田	104.3%	102.5%	102.5%	101.1%	98.9%	93.1%	100.4%	99.2%	100.4%	98.8%	99.2%	104.0%	97.3%	108.6%	101.8%	88.7%	79.6%	88.4%
電鉄黒部	94.8%	102.0%	102.3%	104.5%	99.5%	94.6%	98.7%	101.4%	102.3%	92.5%	103.1%	108.2%	96.0%	107.8%	102.5%	93.8%	79.6%	85.1%
東三日市	100.1%	104.7%	101.3%	88.9%	97.3%	97.0%	98.7%	102.1%	104.4%	102.5%	93.0%	106.7%	96.6%	105.3%	100.0%	86.0%	83.4%	85.8%
荻生	97.1%	102.5%	102.5%	97.8%	98.9%	94.2%	102.5%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%	105.0%	96.4%	104.9%	97.6%	86.7%	84.7%	90.2%
長屋	96.9%	99.6%	100.4%	92.1%	94.3%	93.9%	109.7%	91.2%	100.0%	103.2%	90.6%	106.9%	93.5%	100.0%	106.9%	87.1%	77.8%	81.0%
新黒部												145.1%	98.1%	90.4%	101.1%	93.5%	36.2%	81.7%
舌山	98.2%	102.1%	101.7%	101.3%	93.7%	95.9%	100.0%	102.8%	102.7%	97.3%	95.9%	105.7%	97.3%	101.4%	100.0%	94.5%	84.1%	86.2%
若栗	98.0%	102.1%	101.6%	83.1%	100.0%	98.4%	100.0%	103.2%	101.5%	101.5%	94.0%	106.3%	94.0%	103.2%	100.0%	93.8%	83.6%	92.2%
栃屋	98.5%	100.9%	100.8%	93.5%	95.4%	94.0%	98.7%	101.3%	100.0%	102.6%	91.3%	105.5%	105.2%	98.8%	102.5%	93.9%	83.1%	82.8%
浦山	98.6%	104.7%	102.7%	99.2%	98.5%	96.1%	102.4%	99.6%	101.2%	100.0%	97.2%	105.7%	97.7%	103.5%	100.4%	96.2%	84.3%	91.2%
下立口	98.9%	100.1%	101.0%	96.7%	96.6%	92.9%	100.0%	94.2%	100.0%	114.3%	85.7%	108.3%	94.2%	100.0%	104.1%	88.2%	88.9%	72.5%
下立	97.8%	102.9%	95.5%	97.8%	100.0%	98.9%	102.3%	100.0%	102.2%	102.2%	93.5%	106.9%	95.7%	104.5%	100.0%	95.7%	82.0%	90.4%
愛本	98.9%	97.9%	104.7%	98.0%	101.3%	94.2%	100.9%	100.0%	100.4%	101.3%	96.6%	107.1%	97.1%	103.4%	102.1%	94.8%	83.8%	89.8%
内山	98.1%	103.9%	101.0%	96.0%	100.9%	77.9%	101.8%	100.6%	102.9%	105.1%	95.2%	108.4%	95.3%	103.8%	99.5%	93.7%	84.8%	86.8%
音沢	97.7%	103.9%	100.7%	90.9%	102.9%	98.6%	98.6%	102.9%	102.8%	114.9%	88.2%	110.7%	98.8%	96.3%	94.9%	97.3%	80.8%	81.4%
宇奈月温泉	93.0%	95.8%	101.5%	96.2%	106.7%	87.6%	95.5%	97.5%	100.9%	114.0%	103.0%	155.6%	87.4%	97.1%	98.0%	94.1%	56.4%	73.9%
合計	97.1%	101.1%	101.8%	97.4%	100.4%	92.6%	99.2%	100.1%	101.8%	102.1%	107.0%	119.6%	94.5%	101.6%	100.4%	92.7%	72.1%	84.3%

※緑色は前年対比で増加を示しています。

#### （4）【路線バス】新幹線市街地線の利用状況

- ・YKK荻生製造所まで延伸した平成 29 年 7 月以降において、利用者数は概ね増加傾向にあり、延伸効果がみられました。
- ・一方で、黒部駅から黒部宇奈月温泉駅へのアクセス交通という当初の目的が浸透せず、利用者数は伸び悩んでいます。
- ・令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数は大幅な減少となりました。
- ・令和 3 年度の利用者数は、7 月～10 月は前年度の利用者数を下回りましたが、全体的な利用者数は前年度を上回りました。一方で、令和元年度と比較すると利用者数が大きく下回る月が見られ、新型コロナウイルスの影響は続いていると思われます。

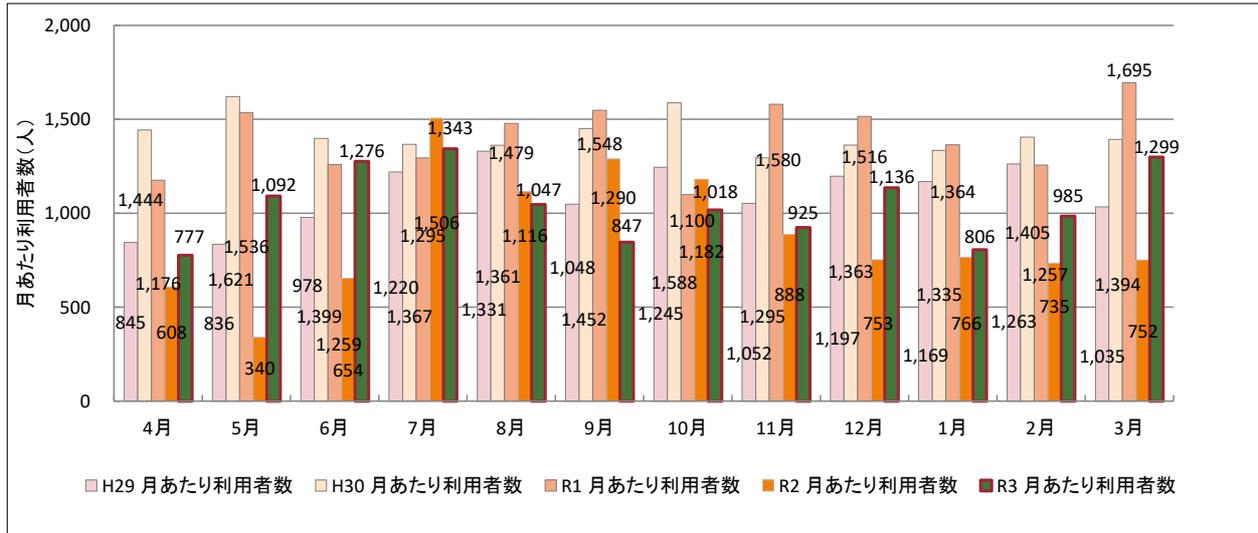


図 新幹線市街地線 月別利用者数推移

表 新幹線市街地線 年度別利用者数推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数	13,219	17,024	16,805	10,590	12,551
前年対比	128.2%	128.8%	98.7%	63.0%	118.5%
一日平均	36.2	46.6	46.0	29.0	34.4

※一日平均の数値は年間利用者数を 365 日で割り返して算出しています。

## (5)【路線バス】新幹線生地線の利用状況

- ・系統を増やした平成 29 年 6 月以降は、利用者数が大幅に増加しており、一日当たり 100 人を超える利用で推移していましたが、令和 2 年度に新型コロナウイルスの影響で利用者数は大幅に減少しました。
- ・令和 3 年度の利用者数は 5、6 月で前年度を大きく上回りましたが、それ以降は、概ね昨年度と同程度の人数で推移となっています。一方で、令和元年度と比較するとすべての月で利用者数は大きく下回り、新型コロナウイルスの影響は続いていると思われます。

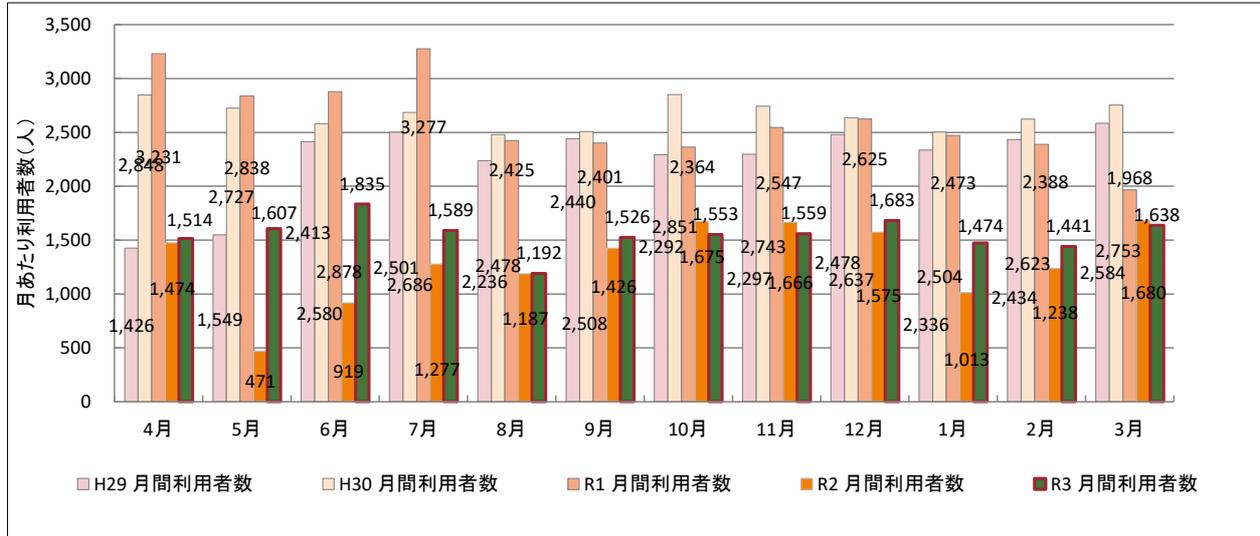


図 新幹線生地線 月別利用者数推移

表 新幹線生地線 年度別利用者数推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数	26,986	31,938	31,415	15,601	18,611
前年対比	-	118.4%	98.4%	49.7%	119.3%
平日平均	106.4	130.4	128.2	64.7	77.9
休日平均	12.8	6.1	5.3	2.8	3.4

## (6)【路線バス】 生地循環線の利用状況

- ・令和 3 年度の利用者数は前年と比較して概ね横ばいとなりますが、令和元年度の利用者数を下回っていることから新型コロナウイルスの影響は続いていると思われます。
- ・令和 3 年度 1 日あたりの利用者数は前年度から大きな変化はなく、平成 22 年黒部市 OD 調査より求めた基準値（39 人/日）程度の結果となりました。

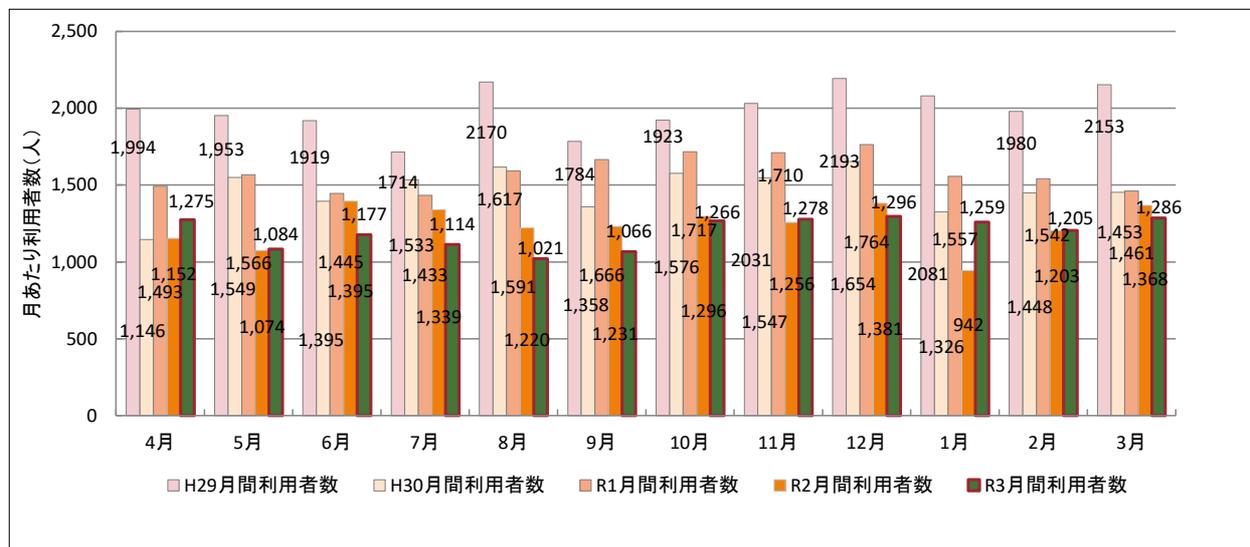


図 生地循環線 利用者数推移

表 生地循環線 年度別利用者数推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数	23,895	17,602	18,945	14,857	14,327
前年対比	104.1%	73.7%	107.6%	78.4%	96.4%
一日平均	65.5	48.2	51.9	40.7	39.3

※一日平均の数値は年間利用者数を 365 日で割り返して算出しています。

## (7)【路線バス】 石田三日市線の利用状況

- ・令和 3 年度は前年度と比較して全ての月で利用者数が上回っており、一年間を通して緩やかな増加傾向がみられました。一方で、令和 3 年度の利用者数を令和元年度の利用者数と比較すると、年間での利用者数は令和元年度を下回りましたが、12 月、1 月、3 月は令和元年度を上回り利用者数回復の傾向がみられます。

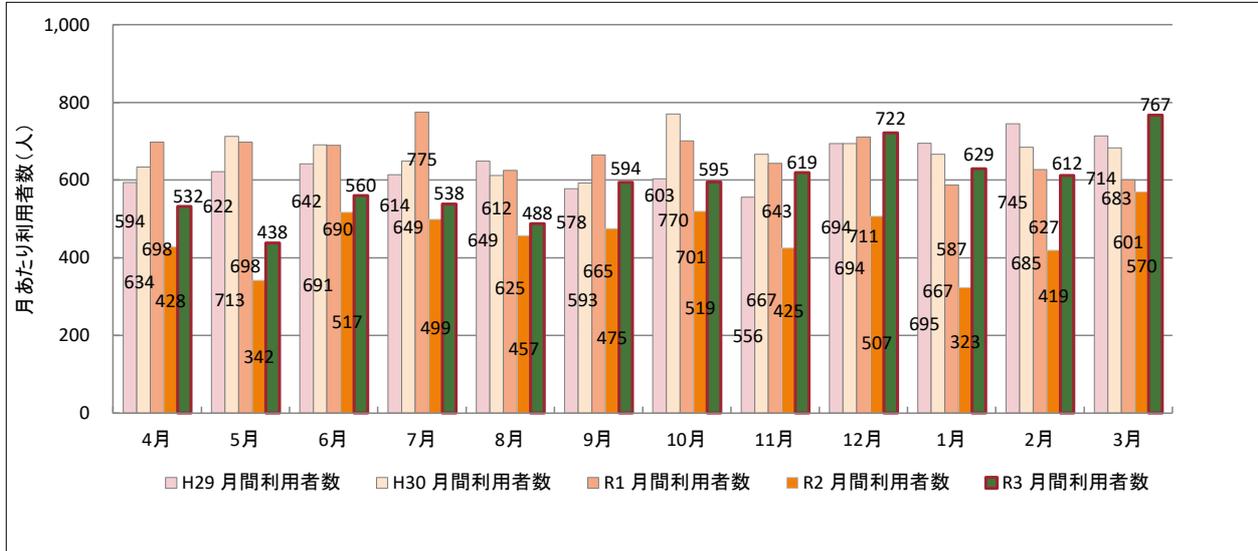


図 石田三日市線 月別利用者数推移

表 石田三日市線 年度別利用者数推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数	7,706	8,058	8,021	5,481	7,094
前年対比	130.0%	104.6%	99.5%	68.3%	129.4%
一日平均	31.2	33.1	33.0	22.6	29.2

## （8）【路線バス】池尻線の利用状況

- ・平成 30 年度より平日のみの運行となったものの、1 日平均利用者数は 35 人前後を保持していました。しかし、令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数が減少しましたが、令和 3 年度では利用者数は増加しました。
- ・なお、令和 3 年度の利用者数は令和元年度と比較すると、年間での利用者数は令和元年度を下回りましたが、12 月～3 月は令和元年度を上回り利用者数回復の傾向がみられます。

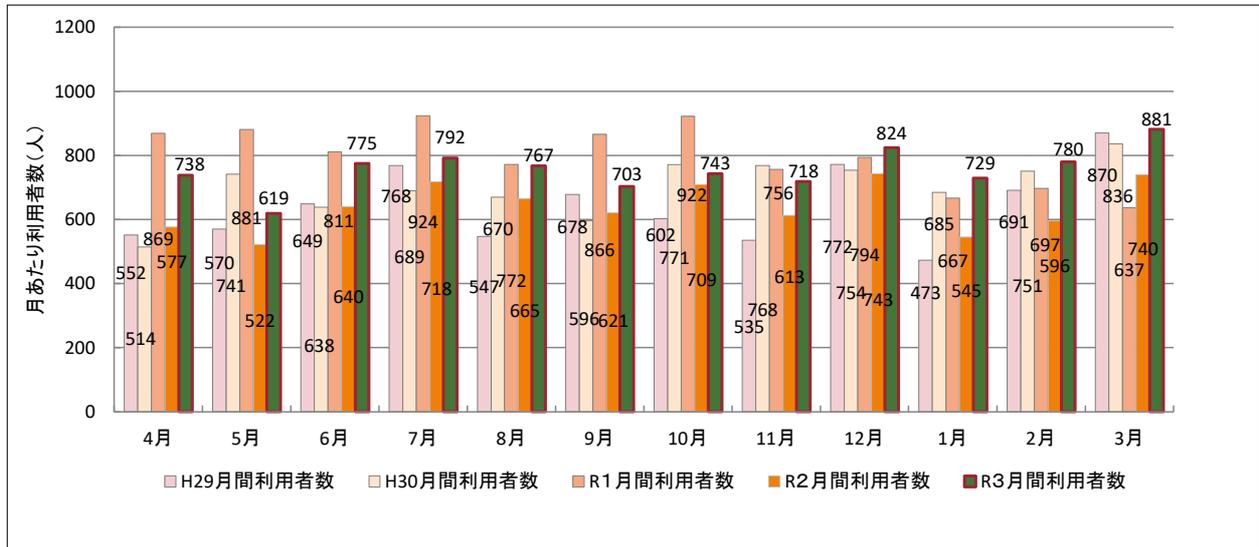


図 池尻線 利用者数推移

図 池尻線 年度別利用者数推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数	7,707	8,413	9,596	7,689	9,069
前年対比	108.0%	109.2%	114.1%	80.1%	117.9%
一日平均	21.3	35.9	40.0	31.8	37.5

## (9)【路線バス】南北循環線の利用状況

- ・令和 3 年度の利用者数は、前年度を上回っていますが、その一方で、令和 3 年度の利用者数は、令和元年度の利用者数を大きく下回っており、新型コロナウイルスの影響は続いていると思われます。
- ・一般利用も含め、令和 3 年度においては 260 人/日程度の利用と、当初目標としていた 440 人/日（YKK 社員 420 人/日、一般 20 人/日）に対して 6 割程度の水準となっています。

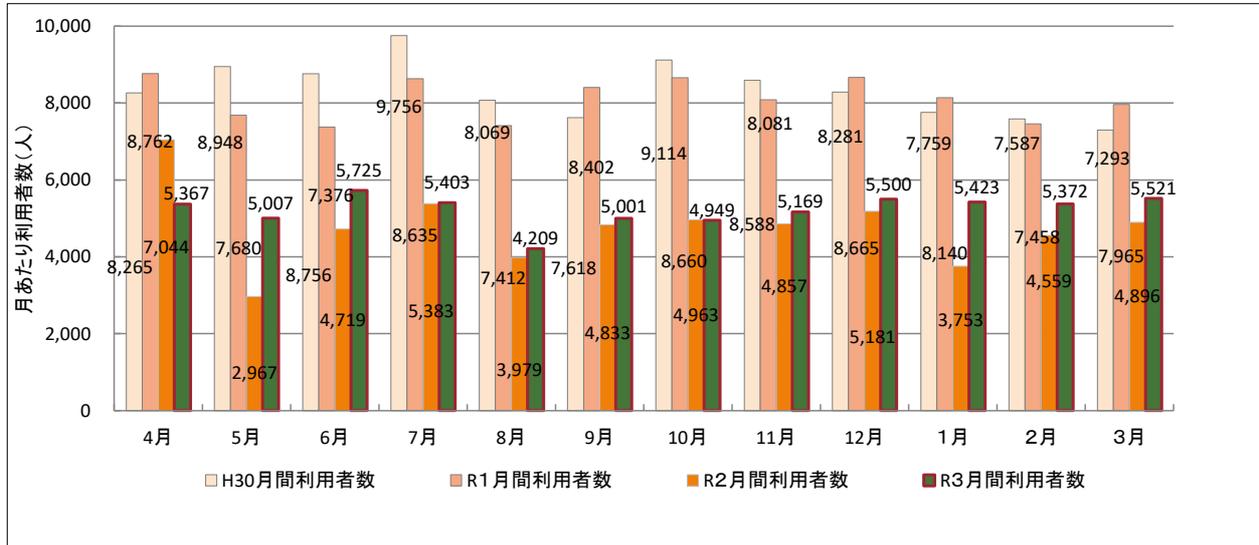


図 南北循環線 利用者数推移

表 南北循環線 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数	100,034	97,236	57,134	62,646
前年対比	-	97.2%	58.8%	109.6%
一日平均	410.0	398.5	235.1	256.8

## （10）【コミュニティ交通】 愛本コミュニティタクシーの利用状況

- ・平成 30 年度以降、年間利用者数は緩やかな減少傾向となっています。
- ・また、令和 3 年度の利用者数についても前年度を下回り、減少傾向は続いています。
- ・月別にみると、令和 3 年度は前年度に比べ 6 月、7 月での利用者数が大きく下回り、それ以外の月については概ね横ばいとなりました。

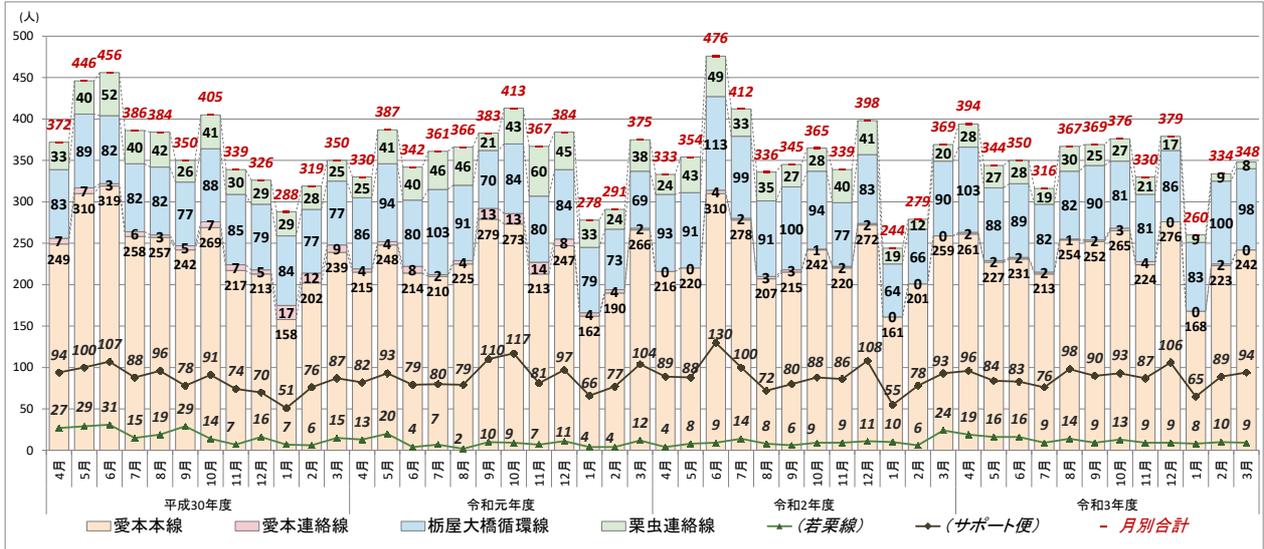


図 愛本コミュニティタクシー 利用者数推移

表 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数	4, 421	4, 277	4, 250	4, 167
前年対比		99. 6%	96. 7%	99. 4%
一日平均	18. 1	17. 6	17. 5	17. 2

## (11)【コミュニティ交通】 デマンドタクシー(田家・前沢地区)の利用状況

- ・年間利用者数は、平成 27 年度以降増加傾向が続いており、他の路線が新型コロナウイルスの影響を受けている令和 2 年度においても、増加をしています。令和 3 年度においても引き続き増加しています。
- ・地区別にみると、平成 28 年度以降減少傾向が続く田家地区においては令和 3 年度では増加に転じています。また、前沢地区においては平成 26 年以降増加傾向が続いています。
- ・一日あたり平均利用者数及び一便あたり平均利用者数も、同様に、田家地区は減少傾向から増加に転じ、前沢地区は増加傾向が続いています。

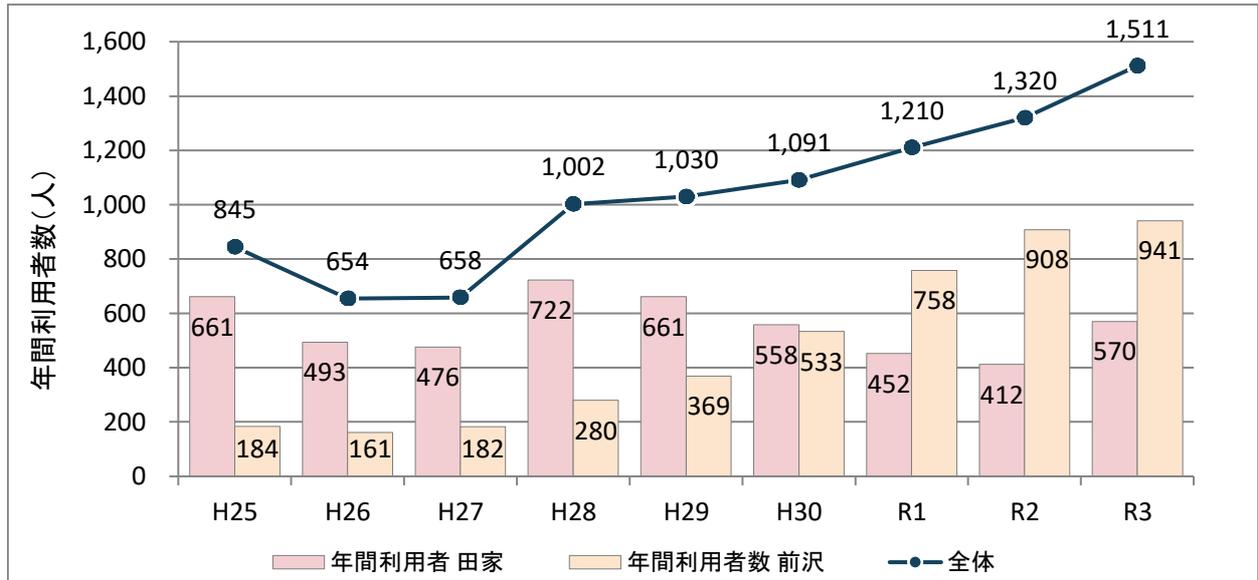


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 年間利用者数推移

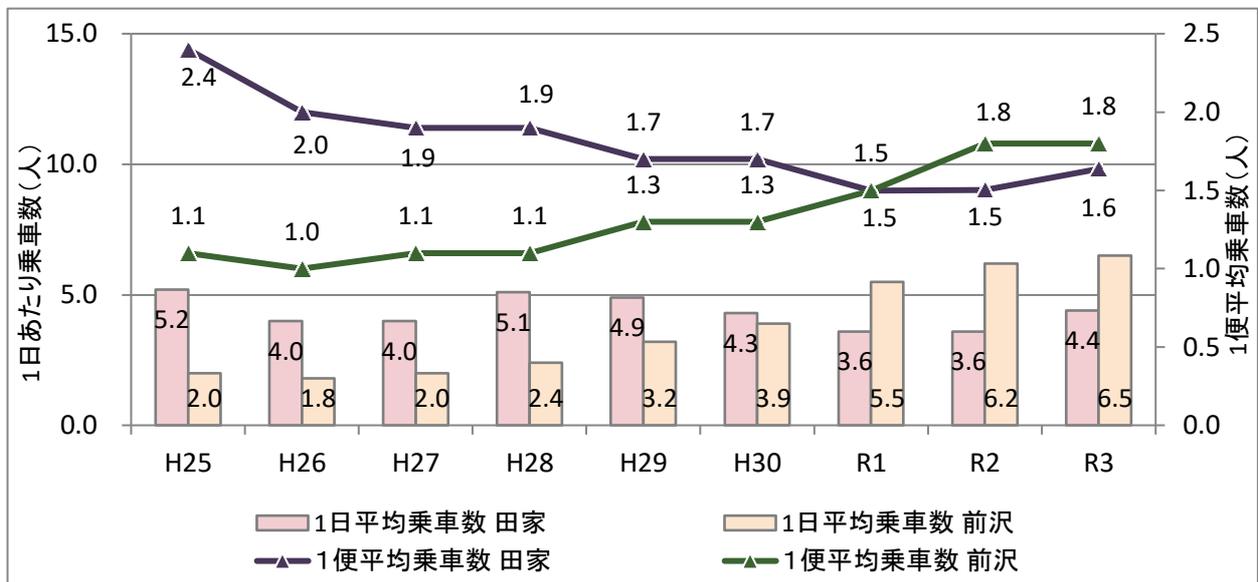


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 1日平均及び1便平均利用者数推移

## (12)【コミュニティ交通】デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区)の概要と利用状況

- ・年間利用者数は、平成28年度から平成30年度までは概ね横ばいで推移し、令和元年度で大きく増加しました。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、年間利用者数は減少に転じてしまいましたが、令和3年度の利用者数は令和2年度と比較すると若干増加しています。
- ・また、令和3年度の利用者数を地区別に見ると両地区とも前年度上回り、一日あたり平均利用者数及び一便あたり平均利用者数も同様に前年度を上回りました。
- ・なお、令和3年度の村椿・大布施地区における利用者数は令和元年度を大幅に下回っていることから、村椿・大布施地区において新型コロナウイルスの影響は続いていると思われます

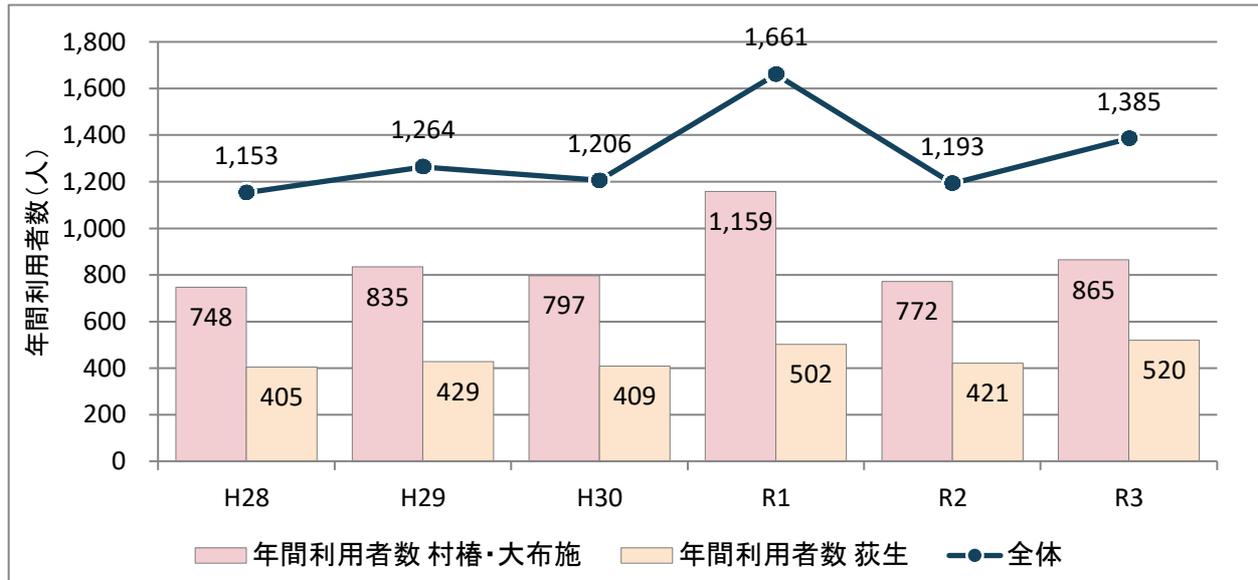


図 デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区) 年間利用者数推移

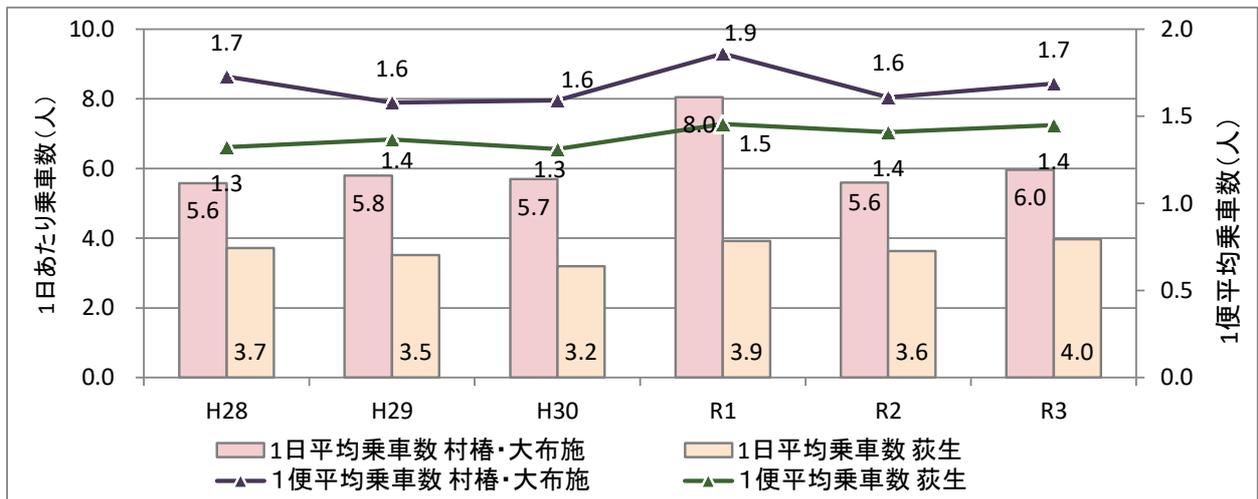


図 デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区) 1日平均及び1便平均利用者数推移